

授業科目	*看護形態機能学Ⅱ				実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期 後期
担当教員	定永 敦司					
授業概要	<p>看護師として社会の人々の健康の保持と増進を目指し、病を抱える人の日常生活を支える役割を果たすためには、人間の身体の機能および、身体に生じている病態を理解した上で、その身体に適した援助を実践することが重要です。看護形態機能学では、一年間を通じて器官（臓器）系統別にだけでなく、日常生活の行動から身体を把握する視点を通して、人体の構造と機能についての理解を深め、看護に必要な基礎的な知識を習得することを目的としています。後半の『看護形態機能学Ⅱ』では、身体の運動、情報処理、免疫、生殖、発生に関わる人体の形態と構造、その正常な生体機能について解説します。また、一年を通じ学んだ知識を深めるために、解剖実習の見学を行います。</p> <p>実務家教員として、25年余高次機能病院の医師として勤務した経験を通じ、仲間と共に知識を元に命（生と死）について考える機会を設けます。医療専門職として今後人の命に対峙することになる際の最初の礎・道標を得て本科目を修了することを期待します。</p>					
	対面授業			授業方法	自主学習支援のため、講義資料の一部をClassroomにアップします テーマを提示し、グループワークやディスカッションを行います	

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ul style="list-style-type: none">1 身体の支持と運動について説明できる2 情報の受容と処理について説明できる3 外部環境からの防御について説明できる4 生殖・発生と老化のしくみについて説明できる5 体表から見た人体の構造について説明できる6 身体の形態と機能の基礎的な知識を身に付ける
理想的レベル	身体の形態と機能の知識と、現場における看護とケアの実践の関連を理解することができる

評価方法・評価割合

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト	30%	
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

第 1 回	テーマ：内臓機能の調節（1） 末梢神経について、自律神経による調節
第 2 回	テーマ：内臓機能の調節（2） 内分泌系（ホルモン）による調節
第 3 回	テーマ：内臓機能の調節（3） 中枢神経について、視床下部一下垂体系
第 4 回	テーマ：内臓機能の調節（4） 甲状腺、副甲状腺、胰臓、副腎、性腺などのホルモン
第 5 回	自律神経系、内分泌系の復習
第 6 回	テーマ：身体の支持と運動（1） 骨格と筋
第 7 回	テーマ：身体の支持と運動（2） 関節
第 8 回	テーマ：身体の支持と運動（3） 末梢神経、関節の動き
第 9 回	テーマ：身体の支持と運動（4） 筋肉の収縮、代謝と運動、体温とその調節
第 10 回	テーマ：情報の需要と処理（1） 脳の高次機能
第 11 回	テーマ：情報の需要と処理（2） 中枢神経
第 12 回	テーマ：情報の需要と処理（3） 末梢神経
第 13 回	テーマ：情報の需要と処理（4） 感覚器－皮膚、嗅覚、聴覚・平衡覚、味覚、視覚 その1 皮膚、嗅覚、聴覚・平衡覚
第 14 回	テーマ：情報の需要と処理（5） 感覚器－皮膚、嗅覚、聴覚・平衡覚、味覚、視覚 その2 味覚、視覚
第 15 回	テーマ：外部環境からの防御（1） 皮膚の構造と機能、免疫 その1 皮膚の構造と機能
第 16 回	テーマ：外部環境からの防御（2） 皮膚の構造と機能、免疫 その2 免疫
第 17 回	テーマ：生殖・発生と老化のしくみ（1） 男性生殖機能
第 18 回	テーマ：生殖・発生と老化のしくみ（2） 女性生殖器、発生、胎児循環、分娩、成長
第 19 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 消化器

2025 年度 授業コード : 21100200

第 20 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 呼吸器
第 21 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 血液・免疫
第 22 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 循環器
第 23 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 腎臓・泌尿器
第 24 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 内分泌・代謝
第 25 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 神経
第 26 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 感覚器
第 27 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 生殖器
第 28 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 新生児・高齢者
第 29 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 運動器
第 30 回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 症例提示
テキスト	教科書 : ISBN978-4-260-04687-9 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	ISBN978-4-89632-896-77 からだがみえる 人体の構造と機能 第1版 編集 : 医療情報科学研究所 MEDIC MEDIA
課題に対するフィードバックの方法	定期試験、小テスト、レポートは返却します。
学生へのメッセージ・コメント	教科書に沿ったスライドによる講義形式の授業を行います。資料は抜粋して配布します。小テストや試験対策の演習も行います。 解剖生理学は、範囲が広く、内容も多岐にわたりますが、今後、疾患や治療、ケアの実践について学ぶ際の基盤となる知識です。 体系的な教科書の内容と併せて、自分自身の生活や身体を通して多面的に理解を深めることができます。 前期と同様に、講義後に講義内容について教科書及び参考資料などをもとに復習してください。毎回小テストを行います。 前期に比べ内容がややイメージしにくい範囲もありますので、理解できなかったところは質問をするなど、その都度、整理をするように心がけてください。

2025 年度 授業コード : 21100200

疾病学総論の講義と連携しながら講義を行うため、予定が変更になる場合があります。